


























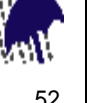
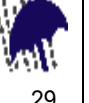
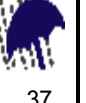

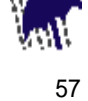


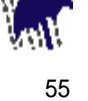
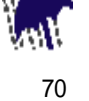

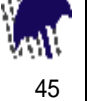
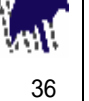
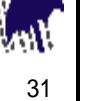






1. 景気動向

全ての業種においてD I値（好転と回答した数から悪化と回答した数を引いた値）は依然としてマイナスで推移しており、引き続き景気の低迷から全ての業種において需要の停滞が問題点のトップとなっている。特に、公共事業面での縮小やデフレ不況に伴う消費の低迷により、当市の経済環境は未だに回復基調の兆しは見られず、厳しい状況にある。

	建設業		製造業		卸売業		小売業		サービス業	
	10月～12月	1～3月	10月～12月	1～3月	10月～12月	1～3月	10月～12月	1～3月	10月～12月	1～3月
	今期状況	見通し	今期状況	見通し	今期状況	見通し	今期状況	見通し	今期状況	見通し
売上高	 53	 53	 32	 32	 46	 64	 46	 53	 33	 39
採算	 69	 53	 30	 36	 64	 82	 57	 57	 44	 37
資金繰り	 47	 47	 23	 28	 9	 9	 45	 52	 29	 37
業況	 41	 57	 23	 34	 55	 70	 47	 45	 36	 31
経営上の 当面する 問題点	1位	民間需要の停滞		需要の停滞		需要の停滞		需要の停滞		需要の停滞
	2位	官公需要の停滞		製品(加工)単価の低下・上昇難		販売単価の低下・上昇難		購買力の他地域への流出		利用者ニーズの変化への対応
	3位	請負単価の低下・上昇難		製品ニーズの変化への対応		仕入単価の上昇		大型店・中型店の進出による競争の激化		大企業の進出による競争の激化
業種別 コメント	民間需要の停滞(当面の問題点第1位)により業界を取り巻く状況は非常に厳しい上に、公共工事は前年比減で、年度末にかけての市の公共工事前倒し発注の反動で発注減が大きく影響。公共工事削減による受注競争激化で、今後も採算悪化傾向が続く見込みなど、厳しい状況を訴える声が寄せられている。		問題点の上位に相変わらず製品(加工)単価の低下・上昇難があげられており、季節的要因もあるが全体に売上減少している割合が高く、依然厳しい状況が続いている。一方で、今回調査では土地、工場設備に投資した割合が増加している。来期の見通しは、先行き不透明な状況が続くと予想される。		売上、業況の数値に若干ではあるが回復の兆しが見られた。しかし、採算の数値の落ち込みは大きく、依然として販売単価の低下が業界の抱える大きな問題点となっている。また、売上の回復と連動し、来期への業況回復の期待が大きくなっている。本格的な業況回復はまだ先のように予想される。		今期は、年末商戦に入り若干ではあるが前期より改善されているが、店側の期待感に反し消費購買意欲はそれほど程向上せず、大型店へ購買力が流出している。来期では、年末年始の商戦が一段落するなどによる季節的落ち込みが考えられる。消費者ニーズへの対応、消費購買意欲の喚起が今後の課題である。		忘年会シーズンは終わったが、期待したほどの売上増とならず、消費は停滞している。客単価の引き下げニーズによる店の対応に苦慮している。来期は一層厳しいと予想される。	

*表中の天気図はD・Iを以下のように分類したものです。

				
とくに好調 (50 DI)	好調 (25 DI<50)	まあまあ (0 DI<25)	不振 (25 DI<0)	きわめて不振 (DI<25)

当所では分析にあたってD・I（好転したとする企業割合から悪化したとする企業割合を差し引いた値）を採用しました。